第 2 期（2020 年 10 月 1 日～2021 年 9 月 30 日）
事業報告

1. 事業運営の総括

第 2 期（2020 年 10 月～2021 年 9 月）の内外環境を振り返りますと、新型コロナウィルスの感染拡大によって世界経済が大きな打撃を受けるなか、国内においても昨年 4 月の緊急事態宣言発出以降、感染拡大と終息の波を繰り返してきました。足元では、ワクチン接種の進捗により、状況が好転する兆しも見えつつあります。
こうしたなか、テレワークやＥコマース、キャッシュレス決済、電子申請、遠隔教育、遠隔医療などの新しい取組みや生活様式が浸透・定着しつつあります。このような経済・社会の変容は、わが国におけるスマートシティの取り組みにおいて、解決すべき社会課題の優先順位の変更をもたらすと同時に、全般的にはその取り組みを推進する要因となっています。
また、本年 4 月のスーパーシティ型国家戦略特別区域の指定に関する公募には、計 31 の地方自治体が応募し、現在、その選考作業が行われています。
こうしたなか、当法人では、オンラインでの活動を中心に、スマートシティをテーマにした特別フォーラムやウェビナーの開催等を通じて、広く社会に対して、その取り組みの重要性や最新の情報の発信を続けるとともに、メールマガジンや会員サイトでの会員向けの情報提供を行いました。また、スマートシティ・アーキテクトの育成、スマートシティに関する共通 KPI 指標の開発・普及をテーマにした２つの分科会を立ち上げたほか、新たな交流イベント（WEB サロン）を開始するなど、活動の幅を広げてまいりました。海外視察研修の中止継続など、新型コロナウィルス感染拡大の影響により一部計画変更はございましたが、当初計画に挙げた各分野の事業は概ね実施できました。
これらの取組みを通じて、当法人の会員数は大幅に増加、また、エグゼクティブ・アドバイザーの体制もさらに充実し、活動基盤の拡大を実現することができました。
海外視察研修の中止継続など、新型コロナウィルス感染拡大の影響による計画変更はございましたが、当初計画に挙げた各分野の事業は概ね実施できたと思います。
事業収支につきましては、第 2 期中に開催を予定しておりましたスーパーシティをテーマにした特別フォーラムの開催が、選定作業の遅延を受けて第 3 期に延期となりましたこと等から、大幅な黒字を計上しておりますが、第 3 期には当該黒字分を予算に上乗せして、事業を実施していく予定です。

1-1．入会状況（2021 年 9 月 30 日現在）

入会承認済の会員総数は 466（前期末比＋177）、内訳は以下の通りとなっております。

１）正会員 A：56 社（+6）
２）正会員 B：20 社（+10）
３）準会員：9 社（+5）
４）賛助会員：381 社（＋156）
中央省庁 6（±0）、地方自治体 218（+78）、大学 25（+14）、
その他団体 132（＋64）

2-2．エグゼクティブ・アドバイザーの就任状況

現在、**36 名（前期末比+12 名）**の有識者の皆さまにご就任いただいております。

2. 第 2 期事業報告

2-1. 事業活動実施状況

昨年 10 月以来、以下の活動を実施しました。

1）特別フォーラム

① 設立 1 周年記念フォーラム

「地球環境との共生で実現するウェルビーイングシティ
～サーキュラー・エコノミーとデジタルテクノロジーの融合による新たなスマートシティ像を求めて～」

https://channel.nikkei.co.jp/e/sci2020

- ✓ 開催日時：2020 年 10 月 23 日（金）10:30～18:45
- ✓ 開催場所：完全 WEB 開催（中継会場：日経ホール）
- ✓ 事前登録者：1,301 名
- ✓ 当日視聴者数（ユニークデバイス数）：1,948 名

② 特別フォーラム

「日本型デジタル社会実現に向けたオール・ジャパンサミット」

https://channel.nikkei.co.jp/e/sci202101

- ✓ 開催日時：2021 年 1 月 19 日（火）10:00～18:10
- ✓ 開催場所：完全 WEB 開催（中継場所：ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル）
- ✓ 事前登録者：4,099 名
- ✓ 当日視聴者数（ユニークデバイス数）：5,568 名

※日経チャンネルよりアーカイブ動画をご視聴いただけます（イベント実施日より 1 年間）。

※各イベントで使用された講演資料(*許諾が得られたもののみ)につきましては、会員専用 WEB よりダウンロードしていただくことが可能です。

3）ウェビナー

2020 年 4 月に立ち上げたウェビナーシリーズを、10 月以降も継続的開催しています。アーカイブ動画及びプレゼン資料については、YouTube チャンネルにて公開しており、動画の再生回数も順調に増加しております。

	第 2 期	開始以来の累計
開催回数	170	260
うち会員限定	2	20
事前登録者数	15,780	26,036
当日視聴者数	12,138	19,382
動画再生回数	約 53 千回 （第 2 期開催分）	約 105 千回

YouTube チャンネル；https://www.youtube.com/channel/UCuv0theDkUMADjkkkqtE8FQ

4）海外視察研修

世界的な COVID-19 の感染拡大を受けて、海外視察研修はすべて中止としました。

5）有識者コラム

以下の通り、計 30 本のコラムを会員専用 WEB ページに掲載しました（第 1 期からの累計では 45 本）。

- ✓ **モビリティジャーナリスト／楠田悦子氏**（2021 年 9 月）
- ✓ **三浦法律事務所パートナー弁護士／越直美氏**（2021 年 8、9 月）
- ✓ **京都大学こころの未来研究センター教授／内田由紀子氏**（2021 年 8、9 月）
- ✓ **内閣官房オープンデータ伝道師、総務省地域情報化アドバイザー／村上文洋氏**（2021 年 5、6、7 月）
- ✓ **三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング／研究員各氏**（2021 年 6、7、8 月）
- ✓ **三菱 UFJ リサーチ＆コンサルティング／廉了氏**（2021 年 5、6、7 月）
- ✓ **京都大学こころの未来研究センター教授／広井良典氏**（2021 年 2、3、4 月）
- ✓ **三菱総合研究所／研究員各氏**（2021 年 2、3、4 月）
- ✓ **慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科教授／西宏章氏**（2021 年 2、3、4 月）
- ✓ **PwC コンサルティング／コンサルタント各氏**（2020 年 11 月、2021 年 1、2 月）
- ✓ **野村総合研究所プリンシパル／石上圭太郎氏**（2020 年 10 月×2、11 月）
- ✓ **MyData Japan 常務理事／伊藤直之氏**（2020 年 10 月）

6）会員向けメールマガジン

計 29 本メールマガジンを会員向けに定期配信しました（メルマガ配信登録者数は 1,036 名）。2021 年 2 月からは定期配信を月 2 回としました。その他、イベント情報等を随時配信しています。

7）分科会活動

第 2 期の分科会活動として、以下 2 つの分科会を事務局主導で立ち上げ、活動を開始しました（参加メンバーは随時受け付け）。また会員専用 WEB ページにて、分科会の活動状況等については、会員全員に共有しています。

さらに第 3 期からは、マイナンバーカード普及推進分科会を立ち上げる予定で、9 月 10 日にはキックオフイベントを開催しました。

① **Liveable & Well-Being City 指標（LWCI）分科会**

- ✓ 幹事：SCI-Japan 南雲理事＋事務局、世界経済フォーラム第 4 次産業革命日本センター／平山雄太氏、コード・フォー・ジャパン代表理事／関治之氏
- ✓ 参加自治体：12、協力企業・団体等：6
- ✓ 開催実績：第 1 回　2020 年 11 月 26 日（オンライン）
  第 2 回　2021 年 3 月 12 日（オンライン）
  第 3 回　2021 年 5 月 20 日（オンライン）
  第 4 回　2021 年 7 月 28 日（オンライン）

② **スマートシティ・アーキテクト分科会**

- ✓ 幹事：SCI-Japan 南雲理事＋事務局、慶應義塾大学大学院システムデザイ

ン・マネジメント研究科白坂研究室

- ✓ 参加メンバー：35 自治体及びその関係者（アーキテクト候補者）
- ✓ 開催実績：公開キックオフイベント　2020 年 11 月 14 日
  第 1 回　2021 年 3 月 5 日（オンライン）
  第 2 回　2021 年 6 月 24、25 日（会津若松市／オンライン）
  第 3 回　2021 年 10 月 24 日（浜松市／オンライン）（予定）

③ **マイナンバーカード普及推進分科会**

- ✓ 幹事：SCI-Japan 事務局
- ✓ 参加メンバー：現在募集中
- ✓ 開催実績：公開キックオフイベント　2021 年 9 月 10 日

8）WEB サロン

スマートシティの社会実装に向けての会員相互の交流・ネットワーキングの場として、WEB サロンを開始しました。毎回、スマートシティに関連した特定のテーマを設定し、それに関心を持つ会員（企業・自治体・団体等）が参加。座談会形式で情報共有・意見交換を行う企画です。

第 1 回（2021 年 5 月 18 日）：LPWA を活用したスマートシティソリューション
企画協力：ZETA アライアンス（凸版印刷）、参加者：32 名

第 2 回（2021 年 7 月 21 日）：Well-Being の向上を目指す Data Driven 社会の実現に向けて(1)
企画協力：セールスフォース・ドットコム、参加者：33 名

第 3 回（2021 年 8 月 19 日）：Well-Being の向上を目指す Data Driven 社会の実現に向けて(1)
企画協力：セールスフォース・ドットコム、神戸市
参加者：36 名

第 4 回（2021 年 9 月 16 日）：Well-Being の向上を目指す Data Driven 社会の実現に向けて(1)
企画協力：セールスフォース・ドットコム、PwC コンサルティング
参加者：21 名

9）グローバル・ダイアログ・クラブ（GDC）

地方自治体（賛助会員）を対象に、海外の自治体（当初は英国の市が中心）との情報交換・交流を行うことを目的に設立。3 自治体（大阪府、横浜市、渋谷区）が参加。東京都、神戸市が参加を検討中。COVID-19 の影響もあり、活動は一旦休止状態ですが、活動再開を検討中です。

10）リサーチ業務

以下の調査を実施し、その結果を会員専用 WEB ページに掲載しました。

① **スマートシティ推進状況に関する調査**

2020 年 9~11 月に自治体会員向けにスマートシティへの取り組み状況や推進上の課題に関するアンケート調査を実施し、日本全体レベルでの課題を統計的に把握・分析しました（回答自治体：119）。これに平行して、日本経済新聞社と連携して、スマートシティを推進中の全国各地の都市・エリアを選定し、スマートシティの取り組み状況や推進上の課題に対する認識等を取材し、特集『熱視！スマ

ートシティ』として 5 回にわたって同紙に掲載いたしました。さらにこれらの結果を紹介するウェビナーを開催しました。

② Liveable & Well-Being City（LWC）指標検討・推進委員会

下記メンバーにより構成される検討・推進委員会を立ち上げました。当委員会では、パイロット都市からのフィードバックも踏まえながら、LWC 指標の継続的な改善・進化を検討・実施します。

慶応義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科 教授 白坂成功氏
同 教授 前野隆司氏
京都大学こころの未来研究センター 教授 広井良典教授
同 教授 内田由紀子氏
Code for Japan 代表 理事 関治之氏
世界経済フォーラム第四次産業革命日本センタースマートシティプロジェクト担当　平山雄太氏

11）イベントの共催・後援等

①横浜市主催／第 9 回アジア・スマートシティ会議

- ✓ プレイベント（2020 年 12 月 14 日～18 日）の共催
- ✓ 第 9 回アジア・スマートシティ会議（2021 年 1 月開催）後援

②「第 1 回 DADC シンポジウム　～アーキテクチャで創る未来社会～」協力（7/9 開催）

③「FUTURE INVESTMENT INITIATIVE（FII)」関連イベント（7/15 プレイベント・10 月本イベント）主催

④「中小企業データ活用フォーラム 2021」後援

⑤オランダ王国大使館主催「日蘭サイバーセキュリティーウェビナー」後援（7/19・20 開催）

⑥同志社大学ソーシャルマーケティング研究センター主催「第 7 回 webinar『grater social good を目指して』」共催（9/7 開催）

13)海外パートナーとの協働

①World Smart City Expo World Congress

バルセロナで開催される World Smart City Expo World Congress への日本ブース出展に向けて、内閣府とも協議の上、準備を具体的に進めていましたが、世界的な COVID-19 の感染拡大を受けて、中止を決定しました。バルセロナとの良好な関係維持を目的として、南雲理事が 2020 年 11 月に開催された Smart City Live 2020(オンライン形式)に 2 回登壇しました。

② e-Governance Academy（eGA）年次カンファレンス「e-Governance Conference 2021」への無料招待

電子行政で世界最先端を走るエストニアの eGA が主催する年次カンファレンスへの無料招待を実施。会員 12 名が参加しました（通常価格（民間）1 名 49 ユーロ（約 6,400 円)。

2-2. 対外情報発信

1）公式ホームページ（2020 年 10 月~2021 年 9 月）　PV 数：217 千 PV

2）SNS による発信（9 月 30 日現在）

① **Facebook（日本語・英語）：**フォロワー2,538 名、いいね 2,227 名
② **Twitter（日本語・英語）：**フォロワー1,400 名
③ **LinkedIn（日本語・英語）：**フォロワー499 名
④ **YouTube：**登録者 2,450 名、掲載動画　約 260 本、視聴回数 約 112 千回
⑤ **Peatix：**フォロワー3,549 名

3）編集広告（日本経済新聞）

① **2020 年 10 月 8 日（木）日本経済新聞朝刊（全国版）2 ページ**
～熱視！スマートシティ第 1 回／編集特集記事広告

② **2020 年 11 月 12 日（木）日本経済新聞朝刊（全国版）2 ページ**
～熱視！スマートシティ第 2 回／編集特集記事広告

③ **2020 年 11 月 24 日（火）日本経済新聞朝刊（全国版）2 ページ**
～2020 年 10 月設立 1 周年記念フォーラム編集特集記事広告
※会員企業によるロゴ協賛広告を募集（3 社が参加）

④ **2020 年 12 月 18 日（金）日本経済新聞朝刊（全国版）2 ページ**
～熱視！スマートシティ第 3 回／編集特集記事広告
※正会員企業一覧を掲載

⑤ **2021 年 1 月 19 日（火）日本経済新聞朝刊（全国版）2 ページ**
～スマートシティ・アーキテクト育成キックオフイベント編集特集記事広告

⑥ **2021 年 1 月 29 日（金）日本経済新聞朝刊（全国版）2 ページ**
～熱視！スマートシティ第 5 回／編集特集記事広告
※正会員企業一覧を掲載

⑦ **2021 年 2 月 24 日（水）日本経済新聞朝刊（全国版）2 ページ**
～2020 年 1 月特別フォーラム編集特集記事広告
※会員企業による協賛広告を募集（4 社が参加）

⑧ **2021 年 8 月 20 日（金）日本経済新聞朝刊（全国版）1 ページ**
～2021 年 6 月第 2 回スマートシティ・アーキテクト分科会特集記事広告
※正会員企業一覧を掲載

※その他、会員募集告知広告を複数回実施

4）　南雲理事によるスマートシティ関連の対外活動（除 SCI-Japan 主催分）
※ご要望があれば、南雲理事やエグゼクティブ・アドバイザーによる社内勉強会の講師等の活動もアレンジします

①アドバイザー等への就任

【国】

- 内閣府　規制改革推進会議　委員
- 内閣府・国土交通省・総務省・経済産業省「スマートシティ官民連携プラットフォーム」　スマートシティ・ガイドブック検討会　委員
- 内閣府 SIP プロジェクト実証に係る検討会「交通・環境分野間データ活用実証に関する検討会」　メンバー
- 内閣官房　行政改革本部 EBPM 推進委員会　有識者
- 経済産業省　産業構造審議会（産業保安基本制度小委員会）　委員
- 経済産業省　IPA デジタルアーキテクチャ・デザインセンター　アドバイザリーボードメンバー

- 経済産業省　情報基盤推進委員会　委員（終了）
- 総務省　電子政府推進委員
- 世界経済フォーラム第四次産業革命日本センター　フェロー（スマートシティ、IoT、ロボティックス）

【自治体】

- 東京都　東京都官民連携データプラットフォーム協議会　委員
- 千葉市　千葉市新基本計画審議会スマートシティ部会　委員
- 鎌倉市　スーパーシティ・アーキテクト
- 浜松市　フェロー／浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム運営委員会　副委員長
- 神戸市　神戸市スマートシティ推進会議　有識者（終了）
- 東広島市　政策アドバイザイー／スーパーシティ・アーキテクト
- 兵庫県東播磨地区　スマートシティ・アドバイザー

【民間】

- 一般社団法人オープンガバメント・コンソーシアム　理事会アドバイザー
- 博報堂＋慶応義塾大学（宮田裕章医学部教授）Better Co-Being プロジェクトメンバー
- Scrum Ventures　SmartCityX アクセラレータ　プログラム・メンター
- 一般財団法人アジア・パシフィック・イニシアティブ「社会実装力プロジェクト：第二ステージ」委員

【海外】

- フィンランド財務省　オーロラ AI プロジェクト・グローバルネットワーク（gHAIR: Global Human-Centric AI Transformation Research Network）　メンバー

②イベントへの登壇（2020 年 10 月～2021 年 9 月）

日付	イベント名／主催者名	会員種別
20 年 10 月 9 日	Open & Agile Smart Cities	
13 日	三菱 UFJ 銀行主催熊本シンポジウム	正 A
15 日	世界経済フォーラム第 4 次産業革命日本センター	
27 日	京都けいはんなスマートシティ・エキスポ 2020	賛助
29 日	日経サーキュラーウィーク 登壇	正 A
11 月 13 日	地域活性化センター講演	賛助
15 日	片山さつきスーパーシティ勉強会@会津若松市 登壇	
16 日	兵庫県議会自民党 登壇	
17 日	Barcelona Smart City EXPO & World Congress	賛助
18 日	同上（世銀枠）	賛助
18 日	同上（スペイン大使館枠）	賛助
20 日	三菱 UFJ 銀行インドネシア講演会	正 A
12 月 1 日	日立製作所グループ勉強会	正 A
8 日	MURC／BS 東テレ 収録（12/20 放送）	正 A

8 日	自民党社会推進本部デジタル人材確保・育成小委員会	
9 日	EIT Mobility Summit	
14 日～18 日	アジア・スマートシティ会議プレイベント	賛助
17 日	浜松市スマートシティフォーラム	賛助
22 日	神戸市スマートシティ協議会	賛助
21 年 1 月 13 日	三菱 UFJ 銀行プレミアムセミナー（上野支店）	正 A
14 日	三菱 UFJ 銀行プレミアムセミナー（横浜・川崎地区）	正 A
14 日	OASC 年次カンファレンス “City x City”	
18 日	アジア・スマートシティ会議	賛助
22 日	RMIT Vietnam Smart City Forum	
29 日	ASPIC クラウド産業協会	
2 月 2 日	FinCity Global Forum	
5 日	愛知県スーパーシティ・スマートシティ・フォーラム	賛助
18 日	アジア・スマートシティ会議フォローアップイベント	賛助
19 日	アーバンデザインセンター神戸（UDC078）	
24 日	西宮青年会議所	賛助
25 日	内閣府国際広報室ウェビナー	賛助
27 日	データウォーク@かまくらシンポジウム	賛助
3 月 4 日	数理・データサイエンス・AI 教育普及 FD シンポジウム	
4 日	Shared Mobility Rocks 2021	
5 日	Doughtnut Meets Tokyo	
8 日	オープンガバメントコンソーシアム総会	賛助
10 日	横浜市産業経済局 YOXO-Galvanize Seminar	賛助
10 日	京都大学 大学発産業創出プログラム	賛助
12 日	熊本経済同友会・熊本商工会議所	賛助
13 日	鎌倉市スーパーシティ市民説明会	賛助
16 日	経産省 Well-Being 課長級勉強会	賛助
19 日	国際文化会館	
26 日	浜松経済同友会	賛助
4 月 1 日	沖縄科学技術大学院大学ウェビナー	賛助
19 日	日本都市計画学会研究交流分科会	
26 日	Oxford Real Estate Conference	
30 日	Eden Strategy Institute 主催イベント	
5 月 12 日	EU-Japan EPA Forum	
21 日	NEC Business Forum	正 A

6 月 3 日	中央大学国際経営学部（国松ゼミ）レクチャー	賛助
22 日	"浜松市デジタル・スマートシティ"オンラインセミナー	賛助
29 日	AWS Innovation Week	正 A
29 日	日経 FT LIVE アジアのテックブーム	正 A
7 月 7 日	名古屋都市再開発促進協議会	賛助
9 日	第 1 回 DADC シンポジウム	賛助
12 日	DSA Open BBL Forum	賛助
15 日	Super City／Smart City Osaka 2021	
26 日	英国大使館 Podcast 登壇	賛助
8 月 1 日	自治体 DX 白書ドットコム	
18 日	オルタナティブデータ推進協議会勉強会	賛助
26 日	スナック恭子出演	
9 月 7 日	同志社大学ソーシャルマーケティング研究センターWebinar 登壇	賛助
15 日	APEC／質の高いインフラによるスマートシティ推進会議	賛助
17 日	ルーマニア Urban Talks	
21 日～22 日	第 1 回 日経 Well-being シンポジウム	正 A
29 日	NTT-GLOCOM 研究会メガトレンドワークショップ	賛助

2-3. 外部団体との提携等

1）関連組織との MOU 締結

提携先	概要
Greater London Authority	英国のグレーター・ロンドンにおいて最上位に位置する地方自治体
Connected Places Catapult	英国のオープンイノベーションを推進する非営利団体
Royal Danish Embassy in Japan	駐日デンマーク王国大使館
Spain Embassy in Japan	駐日スペイン大使館経済商務部
Fira de Barcelona	バルセロナの世界最大級スマートシティイベント Smart City Expo World Congress を主催
WeGo (World Smart Sustainable Cities Organization)	ソウルに事務局を置く、アジアを中心にスマートシティを推進する非営利国際団体。WeGO の会員数は 200 を超え、中国、ロシア、トルコ、メキシコに海外事務所を設置
Eden Strategy Institute	シンガポールの研究機関。独自のスマートシティ・ガバメントランキングを公表
SmartCT	フィリピンに事務局を置く、アジアのスマートシティを推進する団体
MyData Global	パーソナルデータに関する個人中心のアプローチを推進するグローバルな非営利団体
FIWARE Foundation	FIWARE の普及を民間主導で推進するグローバルな非営利団体
慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科　白坂研究室	宇宙開発から社会システムまで、人が経験的・感覚的におこなっていることを体系化する研究を幅広い分野で実施
日本版 Well-Being イニシアチブ	日本経済新聞社、公益財団法人 Well-being for Planet Earth、参画企業により創設。Well-being を測定する新指標開発やウェルビーイング経営の推進等に取り組んでいる

株式会社日経 BP	日本経済新聞グループの出版社で、日経ビジネスをはじめとする「日経 XX」の雑誌を出版。日経 BP 総研の名で「シティブランド・ランキング」ほか独自の調査も実施
一般社団法人コード・フォー・ジャパン	市民主体で課題解決を行うコミュニティづくりの支援等に取り組んでいる Civic Tech の団体
一般社団法人循環経済協会	限りある天然資源を有効活用しながら、資源効率性の高い持続的に発展可能な経済社会（循環経済社会）の実現を目指して各種事業を展開
Scrum Ventures LLC	サンフランシスコと東京を拠点とするベンチャーキャピタル。『SmartCity X』を実施
ハーチ株式会社	ソーシャルグッド、シェアリングエコノミー、教育など幅広い分野でウェブメディアを企画・運営

2）関連団体等への入会　（いずれも会費無料）

加盟団体名	会員種別
グローバル・スマートシティ・アライアンス（GSCA）	パートナー
Open & Agile Smart Cities (OASC)	会員
日 ASEAN スマートシティ・ネットワーク官民協議会（JASCA）	会員
FIWARE Foundation	Associate member
スマートシティ官民連携プラットフォーム	オブザーバー
スーパーシティ・オープンラボ	会員
環境省ローカル SDGs　地域循環共生圏づくりプラットフォーム	会員
地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム	3 号会員
デジタル海外展開プラットフォーム	会員
サイバーセキュリティ協議会	第 4 期構成員
一般社団法人オルタナティブデータ推進協議会	賛助会員
一般社団法人 JCoMaaS	行政事業者団体等会員
一般社団法人データ社会推進協議会	特別会員
一般社団法人 My Data Japan	特別会員
一般社団法人循環経済協会	賛助会員
ZETA アライアンス	特別会員
一般社団法人データサイエンティスト協会	特別会員
一般社団法人ユニバーサルメニュー普及協会	非営利団体等会員
一般社団法人渋谷未来デザイン	賛助会員
一般社団法人渋谷未来デザイン データコンソーシアム	会員

3. 事業報告書の附属明細書

第 2 期事業報告には「一般社団法人および一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条 第 3 項に規定する附属明細書「事業報告を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。

以上